



2020.1.25.Sat



2020.5.10.Sun

森 堯 茂
点 と 線
風 の 通 る 彫 刻

久万美コレクション展Ⅱ

KMA

Kuma Museum of Art

町立久万美術館

開館時間◆9:30～17:00
(入館は16:30まで) 休館日◆月曜日(ただし2/24、5/4は開館) 2/12、2/25、4/30

森堯茂《WALKING EYES》1991年

観覧料◆一般500(400)円、
高大生400(320)円、小中生
300(240)円
※()内は20名以上の団体料金、
高齢者は65歳以上の方、
障害者手帳(身体障害者手帳・
精神保健福祉手帳・療育手帳)
のご提示の際は半額



左から森堯茂《Lの空間》1965年、《A TRAVELER IN LANDSCAPE》1990年、《海からのメッセージ》1982年

不思議なモアレ

森堯茂（1922-2017）は愛媛県宇摩郡金田村（現・四国中央市）生まれ。東京美術学校彫刻科（現・東京藝術大学）を経て、自由美術家協会会員として活動します。1950～60年代、戦後の抽象彫刻の旗手として、「前衛美術の15人展」（1957年・東京美術学校）や「集団58野外彫刻展」（1958年・神奈川県立近代美術館）などの展覧会に出品しました。

それまで彫刻というと、どっしりとした塊が台座の上に置かれていました。森はその概念を否定して、彫刻の中に空間を生み出し地面との接点の少ない新たな彫刻の制作に挑みます。点で支える彫刻を可能にした素材は鉄。鉄は戦後の復興事業と相まって、彫刻の新素材として受容が高まりました。鉄はなめらかな塊を形成するには不向きですが、線や平面状の面的構成を形成するには適しています。50年代以降、森は鉄との交わりを求め続けました。「風の通る彫刻」と呼ばれる中空のフォルムを有した彫刻は、視点が通り抜けていく心地よさがあります。

本展では1960～80年代にかけて、森が追及したモアレ構造（規則的な模様を重ねたときに生じる模様）の彫刻を中心に展覧します。一貫して見られる中空の彫刻と細い足には、新たな彫刻を模索し続けた森の創作理念がつまっています。

常設展

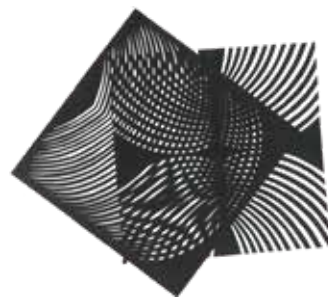
村山槐多・萬鉄五郎を中心とした日本近代洋画を中心に、館蔵品を展示いたします。伊丹万作・中村草田男・重松鶴之助らの同人誌『朱鸞』も必見です！

学芸員解説

2020年4月18日（土）・5月2日（土）各14:00～
※観覧料のみ必要です。

ワークショップ・切り紙モアレに挑戦

日時 ◆ 2020年3月14日（土）14:00～
講師 ◆ 越智雅（切り紙作家）
対象 ◆ 小学生～大人
参加費 ◆ 300円 ※観覧料込み
定員 ◆ 10名ほど ※要予約（☎0892-21-2881）



※完成見本

久万美開館記念！
～入館無料～

2020 / 3 / 22（日）

31th Anniversary

町立久万美術館

〒791-1205愛媛県上浮穴郡久万高原町菅生2-1442-7
TEL. 0892-21-2881 FAX. 0892-21-1954
http://www.kumakogen.jp/site/muse



交通

Twitter
Instagram

久万美・りりこ
@kuma_artmuseum

[JRバス]

松山から70分 / 予讃線松山駅から久万高原町行

「久万中学校前（伊予鉄南予バス久万営業所と同所）」下車徒歩10分

[車]

駐車場45台（無料）

松山市内から国道33号線で約1時間、高知市内から約2時間

松山自動車道 - 松山I.Cから国道33号線を高知方面へ35分